

## 【樹木の部屋】

### アダン (タコノキ科タコノキ属 Pandanus odoratissimus)

**和名**：アダン (阿檀)    **別名**：タコノキ、パンダナス    **英名**：

タコノキ目 常緑小高木    **原産地**：東南アジア、沖縄

**花言葉**：    **花の色**：



← **写真-1** アダンの樹形

撮影日：2015年2月3日  
撮影場所：あやまる岬(奄美大島)にて  
撮影者：M さん



→ **写真-2** アダンの樹形

撮影日：2015年2月3日  
撮影場所：あやまる岬  
(奄美大島)にて  
撮影者：M さん

→ **写真-3** アダンの実 (集合果)

撮影日：2015年2月3日  
撮影場所：あやまる岬  
(奄美大島)にて  
撮影者：M さん





← 写真-4 アダンの気根（支柱根）

撮影日：2015年2月3日

撮影場所：あやまる岬

（奄美大島）にて

撮影者：M さん

初めての奄美大島です。鹿児島県の南部、奄美群島の主要な島。観光客の多くは、奄美大島の上空を通過して、沖縄へ・・・小生もその一人。今回、友人に誘われて・・・その奄美大島北部のあやまる岬の海岸で見かけました。

アダンは高さ 2-6m ほどにもなるそうです。成長するにつれ、太い枝が横に展開し、そこから気根（支柱根）を垂らして接地。この支柱根が木を安定させ、風倒を防ぐようです。葉は細長い披針形で茎を包むような形で生じる。葉の辺縁部や主脈には鋭い棘があるので要注意。

雌雄異株。夏季に雄株は房状の花序、雌株は球状で小型の花序をつけ、雄花序は、複数の緑色-黄白色の葉状の総包と白色の肉穂花序からなる。肉穂花序は多数の小枝に分岐し、そこから多数の雄蕊が生じる。雌花序は太い軸の先端から生じる広楕円形。葉状で白色の総包十数枚を伴う。雌蕊は楕円型。

果実は直径 15-20cm ほどでパイナップルに似た外見で集合果。若いうちは緑、熟すと黄色くなり、甘い芳香があり、ヤシガニの好物だそうです。パイナップルのような外観と甘い芳香のため、美味のようですが、ほとんどが繊維質で人間が食べるのには適さないそうです。

葉は煮て乾燥させた後、パナマ帽等の細工物や、細く裂いて糸とし、筵やカゴを編む素材として利用されるそうです。沖縄では古くからその葉で筵やござ、座布団、草履を作るなどの利用があったそうです。また、観葉植物や街路樹、防潮林、防風林、砂防林に利用されることも・・・。